

	発行者の略号	東書	大日本
	書名	新しいほけん3・4 新しい保健5・6	たのしいほけん3・4 たのしい保健5・6年
（ア） 教科・種目に 共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①教育基本法の理念をふまえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、未来を拓くために必要な資質・能力の育成を目指して編集されている。	①児童のたしかな「生きる力」を育むこと（「生きる力」が身につく教科書、学びやすく、教えやすい教科書）を目指し、編修されている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①単元のまとめには、（ ）の中に言葉を入れられるようになっていたり、振り返りを書くスペースがあつたりするなど、学んだ知識を確認できるようになっている。 ②各単元に学習の進め方「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の各ステップがあり、児童の思考を促す展開が工夫されている。 児童が思考していくための資料が豊富にあり、自分の考えを表現しやすくなっている。 ③ステップ4「まとめる・生かす」では、学習をふまえて自分の生活を見直す活動などを設け、学習したことが実生活で生かせるようになっている。また、次の保健学習に意欲的に取り組めるような投げかけがある。	①単元のまとめには、◎・○・△を使って、学んだことを振り返ることができるようになっており、学んだ知識を確認できるようになっている。 ②各単元に「課題をつかもう」「課題を解決しよう」「活用して深めよう」「まとめよう」「毎日の生活に生かそう」の各ステップがある。 児童が自分の考えを書くスペースもあり、思考したり表現したりできるようになっている。 ③まとめのページで学習の振り返りをした後に、「学んだことを活用しよう」「学んだことを深めよう」の項目がある。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①概ね内容をふまえている。	①概ね内容をふまえている。
	（ウ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①学習の進め方が4つのステップになっており、児童が主体的・対話的で深い学びができるよう授業の流れが分かりやすくなっている。 ②教科書の欄外に「他教科マーク」をつけ、教科名、学年、単元名を示している。 「資料」の中に、運動との関連が示されており、運動と健康が関連していることが意識できるようになっている。養護教諭や栄養教諭、学校医等が登場する場面があり、学校内外の人材の有効活用がされやすい。 ③「書く」「話し合う」「発表する」などの活動が数多く取り入れられている。 ④写真に七夕や毛筆、挿絵におにごっこや雪合戦などが掲載されている。 ⑤実験や実習ページがあり、「心の健康」「けがの防止」等の単元では、体験活動を通して学ぶことができるようになっている。 ⑥最終ページには、中学校生活に向け、健康や安全について目標を立てる記述欄がある。 ⑦Dマークや検索マークがあり、調べ学習をしやすくしている。 ⑧文節改行で文章が読みやすい。4つのステップでの学習の進め方は、見通しが持ちやすいなどの工夫がされている。 ⑨「解説」「まめちしき」「はってん」などの記載がある。 ・現代的な課題（(瘦身願望、スマートフォンと健康など）の記載がある。 ・相談窓口の電話番号が記載されている。	①学習の進め方が5つのステップになっており、自分の課題を持って学習が進められるようになっている。 ②関連した教科がマークで示している。 「もっと知りたい」では、いろいろな運動を紹介していて、運動と健康の関連が示されており、運動と健康の関連が意識できるようになっている。養護教諭や栄養教諭、学校薬剤師等が登場する場面があり、学校内外の人材の有効活用がされやすい。 ③「書く」「話し合う」「発表する」などの活動が数多く取り入れられている。 ④挿絵にあやとりやおにごっこが掲載されている。第4学年では「成長を祝う行事」を紹介し、日本の伝統・文化についての資料を掲載している。 ⑤「やってみよう」の項目があり、「心の健康」では、心や体をリラックスする体験的な活動を促している。 ⑥最終ページには、3年から6年の保健を振り返るとともに、中学への夢や目標を考える記述欄がある。 ⑦ウェブマークがあり、調べ学習をしやすくしている。 ⑧文節改行で文章が読みやすい。ページ番号やインデックスを単元のカラーで統一するなどの工夫がされている。 ⑨「ミニちしき」「もっと知りたい」で役立つ知識や発展内容の記載がある。 ・相談窓口の電話番号が記載されている。 ・現代的な課題（パソコンやタブレットの使い方）についての記載がある。
（イ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②A4判【3・4年】45ページ。【5・6年】81ページ。UD 教科書体使用。カラーユニバーサルデザインをふまえた配色になっている。1項目4ページ構成。ステップ1「気づく・見つける」が奇数ページ（右ページ）に配置されており、ステップ2以降の本文を読まずに、「まずは自分で考える」課題発見の活動に取り組みややすい構成になっている。ワークシートのように、教科書に記載できる。 ③漢字は交ぜ書きをなくす配慮から、学習該当学年の1学年上の漢字もふりがな付きで使用。ステップ1「気づく・見つける」で、日常生活が想起でき、児童の興味・関心を引くようなダイナミックな写真やイラストが掲載されており、児童自らが学習課題を見付けやすくなっている。 ・外国人、障がい者、高齢者などが挿絵に含まれていてインクルーシブの視点が入っている。	①概ね適切である。 ②AB判【3・4年】37ページ。【5・6年】57ページ。UD 教科書体使用。カラーユニバーサルデザインをふまえた配色になっている。 ③漢字は、原則的に学習指導要領に示されている配当学年より1学年遅らせて使用している。生涯を健康に明るく生きる力を育む保健の学習の導入として、表紙には運動だけでなく、花を育てたり、調理をしたり、絵を描いたり様々なことを生き生きと活動しているこどもの姿が描かれている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	【3・4年】 P.34「初経を経験した時期」「精通を経験した時期」の統計（2011年）を棒グラフで分かりやすく示している。 【5・6年】 P13「小学生の不安やなやみ」（2014年）P24「小学生の事故」（2016年）※「死亡事故」「学校生活のけが（どこで）（何をしている時）（どこを）」P30「交通事故の原因」（2016年）※（歩いている時）（自転車に乗っている時）P58「死因の内訳」（2016年）P64「喫煙の開始年齢と病気による死亡との関係」（平山雄による）では、棒グラフや円グラフを用いて掲載している。小学生の事故では、どんな事故か、どこで、何をしているときか、どこをけがしたのか、児童の知りたい資料を扱っている。	【3・4年】 P.24「ソフトボール投げのきまり」（2017年）、P.27「体に変化があらわれている人」（2005年）の統計を、男女別・年齢別に棒グラフで分かりやすく示している。 【5・6年】 P12「小学生の不安やなやみ」（2014年）P20「けがの原因」※交通事故（2017年）水の事故（2017年）学校でのけが（2018年）犯罪被害（2017年）。特に、犯罪被害が起こる時間帯の資料も掲載し、児童の下校の注意も促している。P24「小学生の事故の原因」（2017年）P42「死亡原因の割合」（2017年）。P12の資料は棒グラフ。その他は円グラフを活用している。
	②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	②ステップ1「気づく・見つける」で、日常生活が想起でき、児童の興味・関心を引くようなダイナミックな写真やイラストが掲載されており、児童自らが学習課題を見付けられやすくなっている。 ・2次性徴を説明する挿絵が、思春期の児童が学ぶものとして配慮されたものとなっている。	②単元導入時の写真やイラストが学習内容をイメージしやすいものであり、その次のページ見開きで記載されている学習ゲームは、児童が楽しみながら学習課題を設定できるようになっている。
	③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	③各小単元末に、学習内容に関連した資料を掲載（3・4年12項目、5・6年23項目）している。今日的な健康課題（(瘦身願望、スマートフォンと健康など）の掲載もある。児童がもっと詳しく調べたい時の情報入手先を紹介している。学習内容に関連させて、オリンピック・パラリンピックアスリートを紹介している。	③各単元末に、2ページの「もっと知りたい！」があり、学習内容に関連した学びを広げ、深める資料が充実している。

	発行者の略号	文教社	光文
	書名	わたしたちのほけん3・4年 わたしたちの保健5・6年	小学ほけん3・4年 小学保健5・6年
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①真の生きる力を養うために3つの基本方針(①学習を子どもの側からとらえ、内容を構成、②全ての教員が取り扱いがしやすい構成、③これからの人生がより良いものになることを願った紙面構成)をもとに編修されている。	①3つの基本方針(①身近な生活における健康・安全についての知識と基本的な技能を理解し、身に付けることができる②健康・安全について自己の課題を見つけ、課題解決に向けて思考・判断し、他者に伝える力を育むことができる③健康の保持増進と体力の向上を目指して、楽しく明るい生活を営む態度を育むことができる)で編修されている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①大切な文章は、薄い黄色で塗りつぶしがされており、その上にキーワードを太字にして文章表記がされていて、必要な知識が明確になっている。 ②単元ごとに「振り返ってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「新しい自分にレベルアップ」などがあり、学習課題に順序性をもたせている。記述するスペースが多く、考えて発表する学習が進められる。 ③各単元の終わりに「わたしの〇〇宣言」のページがあり、学習したことや理解したことをふまえ、より自信をもって、これからの生活や学習に向き合っていけるようになっている。	①単元のまとめには、選択式の問題があったり、学習を振り返るチェックができた、その理由を書くスペースがあったりするなど、学んだ知識を確認できるようになっている。 ②各単元に「自分の生活を振り返る」「学習課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に活かす・伝える」の各ステップがある。資料を基に自分で考えたり、友達と話し合うことで考えを深めたりする学習活動が毎時間設定されている。 ③学習したことを自分の生活にどう生かすかが考えられるよう、毎時間の学習の終わりに「生かそう 伝えよう」が設けられている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①概ね内容をふまえている。	①概ね内容をふまえている。
	（ウ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①学習の進め方が4つのステップになっており、児童の思考に沿って学習を進められるようになっている。 ②数は少ないが欄外に掲載されている「つぶやきくん」の中で、5・6年の教科書の中に3、4年の保健との関連を示している。 ③「書く」「話し合う」「発表する」などの活動が取り入れられている。 ④郷土料理について掲載されている。 ⑤「調べてみよう」「やってみよう」のなかで、体験的な活動を促している。 ⑥最終ページには、欄外に中学校につながる言葉が記されている。 ⑦QRコードがあり、調べ学習をしやすくしている。 ⑧情報が精選されているため、紙面に適度な余白があり、挿絵も大きく見やすくするなどの工夫がされている。 ⑨本文の全ページ下にある「つぶやきくん」では、子どもたちへのメッセージや豆知識を記載している。「もっとくわしく！」「もっと知りたい！」コーナーでは、学習内容に深みをもたせる内容やさらに関心がもてるような情報を記載している。	①学習の進め方が5つのステップになっており、児童が主体的に課題解決学習できるよう工夫されている。 ②学年や教科が説明とともに示されている。 「運動と健康」に関連する内容をコラムや発展的資料の中で多く示されており、充実している。養護教諭や栄養教諭、学校医等が登場する場面があり、学校内外の人材の有効活用がされやすい。 ③「書く」「話し合う」「発表する」などの活動が数多く取り入れられている。 ④ケン・ケン・パやおしくらまんじゅうなどの運動が挿絵付きで掲載されている。 ⑤「不安や悩みなどの対処」「けがの手当て」では、「やってみよう」の項目があり、体験的な活動を促している。 ⑥発展の中で「保健体育」中学校と示している。 ⑦WEBマークやQRコードがあり、調べ学習をしやすくしている。 ⑧学習過程が5段階で統一されていて、学習の見通しをもちやすい工夫がされている。 ⑨学習内容が身近に感じられるような4コマ漫画で単元を導入している。「解説」「科学のとびら」「この人に聞く」「はってん」「まめちしき」などで、専門的な用語を解説したり、学習内容の理解を助ける科学的な資料を記載したりしている。 ・現代的な課題(痩身願望・LGBT・インターネットの取り扱い・AED・がん・病気からの回復など)についての内容が充実している。 ・相談窓口の電話番号が記載されている。
（エ）分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②A4版【3・4年】33ページ。【5・6年】53ページ。書体や文字の大きさ、色はユニバーサルデザインの観点で作成されている。 ③漢字は交ぜ書き等で分かりにくい場合などはふりがなをふってある。当該学年以降の漢字については、見開き2ページの初出時にふりがなをふってある。	①概ね適切である。 ②A4版【3・4年】41ページ。【5・6年】65ページ。教科書体使用。カラーユニバーサルデザインをふまえた配色になっている。 ③専門用語や当該学年以降に学習する漢字には、その都度フリガナがふってある。 ・外国人、障がい者、高齢者などが挿絵に含まれていてインクルーシブの視点が入っている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	【3・4年】P.19「身長のものびるようす」、「体重のふえるようす」の統計(平成29年)・「年齢と新体力テストの記録」(平成28年)を、男女別・年齢別に折れ線グラフで分かりやすく示している。P.31「生活習慣と新体力テスト合計点(10才)の関連」の統計(平成28年)を棒グラフで分かりやすく示している。 【5・6年】P.8「5、6年生の不安やなやみ」(厚生労働省)P.17「けがの防止」(平成29年度)P.19「交通事故の防止」(平成28年度)P.21「水の事故」(平成28年)P.35「病原体と病気」(結核2015年)(食中毒2017年)P.43「喫煙の害」(平山雄氏による)では、棒グラフや円グラフ、帯グラフを活用して掲載している。グラフは大きく見やすくなっている。	【3・4年】P.29「いつごろ体に変化があらわれたか」(2002年調査)の統計は、男女別・学年別に分かりやすく示している。P.35「同じ運動量のめやす」(2013年)の統計は、運動・生活の中の運動と分け、イラストで分かりやすく示している。 【5・6年】P.16「不安やなやみなどの対処」(男子2014年 女子平成25年度)P.22「けがの防止」(平成29年度)P.30「小学生が犯罪被害にあった場所」(平成25年)P.32「学校で実際に起きたけが」(平成29年度)P.35「心肺蘇生とAED」P.43「日本全国のインフルエンザで欠席した子ども」(厚生労働省)P.46「日本とそのほかの国の結核にかかった人の割合」(平成28年)P.48「死亡原因の構成割合」(2016年)P.52「日本人の死亡原因の変化」(厚生労働省)P.52「生活習慣病などが関連する病気による死亡者数」(2007年)P.54「喫煙の被害」(平山雄氏による)P.55「受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連」(国立がん研究センター)P.57「飲酒を始めた年齢とアルコール依存症」(Grant による)P.60「両親の喫煙と生まれた赤ちゃんの突然死との関連」(1998年)という多くの資料を掲載し、様々な角度から考えることができるようになっている。
	②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	②各単元の始まりに、これからの学習を見通せるようなイラストを掲載している。「ふりかえってみよう」では、自分に当てはまるものをチェックすることで学習課題を見つけられるように工夫されている。	②各巻の最初に、児童が保健を学ぶことの大切さに気づく6コマ漫画が示されている。また、単元ごとの導入のページに、児童の生活との関連があり共感できる内容の4コマ漫画が示されている。 ・2次性徴を説明する挿絵が、思春期の児童が学ぶものとして配慮されたものとなっている。
	③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	③「もっと知りたい！」「もっと♪ヘルシー♪いい話♪」「発展」などに、学習したことを生活の中を生かすヒントが記載されている。 各単元のまとめに「わたしの〇〇宣言」があり、これからの生活を考えられるようになっている。	③資料ページ「さらに広げよう 深めよう」があり、学習の単元ごとに2ページの豊富な資料が掲載してある。資料ページが本文のどこと関連しているかが記載してある。 Webで、学習内容をさらに詳しく調べたい時にサイトを紹介している。 ・口絵に、トップアスリート・パラアスリートが「わたしと健康」というテーマのメッセージを掲載している。

	発行者の略号	学研	
	書名	みんなのほけん 3・4年 みんなの保健5・6年	
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①3つの基本方針（①「健康とはどんなことか」を考える②「健康とどう関係しているか」を考える③「健康になるためにはどうすればよいか」を考え、実践に結び付ける教科書）で編修されている。	
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①単元のまとめには、学習を振り返るスペースがある。さらに、「明日につなげる」項目もあり、学習したことを生かす工夫がされている。 ②各単元に「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の各ステップがある。 また、考えを書いたり児童の思いを表現したりすることのできるスペースがある。 ③「まとめる・深める」では、生活につなげるという視点で学習したことをまとめる記述欄が設けられている。	
	（4）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①概ね内容をふまえている。	
	（ウ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①学習の進め方が3つのステップになっており、児童が見通しを持って学習に取り組めるようになっている。 ②関連マークがあり、学年や教科でどんなことを学習するかが示されている。 運動領域との関連は特に分かりやすく、「体育とつなげる」と示されている。養護教諭や栄養教諭、学校医等が登場する場面があり、学校内外の人材の有効活用がされやすい。 ③「書く」「話し合う」「発表する」などの活動が数多く取り入れられている。 ④医学や保健の分野での日本人の世界的な活躍として、ノーベル生理学・医学賞を受賞した人が掲載されている。 ⑤実験や実習コーナーがあり、「心の健康」「けがの防止」等の単元では、体験活動を通して学ぶことができるようになっている。 ⑥「病気の予防」のなかで、中学校1年「健康の成り立ち」で学習すると示している。 ⑦ウェブサイトの紹介や QR コードがあったり、「おうちで」「ちいさで」のマークがあったりするなど、調べ学習をしやすくしている。 ⑧1時間ごとの課題と学習の進め方を分かりやすく工夫している。 ⑨「かがくの目」「ことば」「本マーク」などの記載があり、科学的な資料やことばの説明、関連する情報などが記載されている。 ・「おうちで」「ちいさで」の記述があり、家庭や地域で取り組める活動が示されている。 ・現代的な課題（パソコンの使い方）についての記載がある。 ・相談窓口の電話番号が記載されている。	
（イ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②A4判【3・4年】37ページ。【5・6年】57ページ。文字はユニバーサルデザインフォントを積極的に使用している。カラーユニバーサルデザインにも配慮している。1時間の学習が見開き2ページで構成されている。 ③漢字は交ぜ書きを避け、6年生で学習する漢字までを使用し（【3・4年】は4年生）、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなをふっている。 ・表紙のイラストに外国人、障がい者が含まれ、また、運動・食事・睡眠中の児童が描かれている。 インクルーシブの視点や学習内容である健康には運動・食事・睡眠が大切なことが分かる表紙になっている。		
（イ） 教科・種目別の観点	①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	【3・4年】P.10の「早寝早起きの人」と「おそくねておそく起きる人の1日の体温のリズム」をグラフで分かりやすく示している。 【5・6年】P12「不安やなやみへの対処」（2014年）P20「けがの防止」（2016年）※「交通事故」「水の事故」「小学校内での事故」の円グラフを掲載。P40「日本人の死亡原因」（2016年）P47「夫の喫煙と妻の肺がんの危険性」（倉橋典絵らによる）という5つのグラフを掲載している。	
	②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	②1時間の学習のタイトルの隣に「ここでまなぶこと」が示されており、何を学ぶ時間かが分かりやすい。 ・2次性徴を説明する挿絵が、思春期の児童が学ぶものとして配慮されたものとなっている。	
	③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	③単元の最後に見開き2ページで「もっと知りたい 調べたい」のページがあり、学習したことを広げたり深めたりできるように、詳しい資料が豊富に掲載されている。	